

第5学年 総合的な学習の時間（高森ふるさと学） 学習構想案

日 時 令和6年11月22日（金）第5校時
 場 所 5年教室
 指導者 教諭 米崎 美南
 講師 本田 こずえ

1 単元構想

単元名		高森町もり上げ隊になろう	
単元の目標		地域のよさを見つけ未来に残すために、自分たちにできることを探究的に学ぶ活動を通して、 (1)高森町の文化や農業、自然を守り受け継ぐために取り組む人々の思いや願いについて理解し、 (2)高森町のよさを多くの人に発信するために自分たちにできることを検討するとともに、 (3)自己調整しながら主体的、協働的に課題解決に取り組み、学んだことをこれからの自己の生き方や生活に生かそうとする。	
		知識・技能	思考・判断・表現
単元の評価規準		① 高森町の伝統文化や農業、自然を守り受け継ぐために取り組む人々の思いや願いを理解する。 ② 必要な知識や技能を選択しながら学習計画を立てている。 ③ 高森町のために自分たちにできることを考え、発信することこそが探究的な学びの成果だということに気付いている。	① 自分の生活やこれまでの学びから見つけた高森町のよさから、自分が探究したい課題を設定している。 ② 学習計画をもとにして、多様な方法で高森町のよさについての情報を収集している。 ③ 収集した情報を整理・分析することで、自分たちにできることを考えている。 ④ 伝える相手や目的を意識して、映像や写真、文章を活用して表現している。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
高森町の伝統文化や農業・自然を守るための多様な取り組みやその取り組みに携わる人々の思いや願いについて理解し、高森町のよさを未来に残すために自分たちにできることを検討し、学び方について自己調整しながら主体的・協働的に課題解決に取り組む姿。			
単元を通した課題		本単元で働かせる見方・考え方	
大好きな高森町のよさを未来にのこすために、わたしたちに何ができるだろうか。		高森町の伝統文化や農業、自然について、そのよさを見つけ、これまでの学びや自分たちの暮らしと関連させて、自分にできることを考え、豊かな自己の生き方につなげることができる。	
指導計画と評価計画（20時間取扱い 本時11/20）			
過程	時間	学習活動	具体の評価規準 ★は記録に残す評価の場面での「具体の評価規準」
導入	4	○これまでの高森ふるさと学の学びを振り返り、高森町内外の方に紹介したい高森町のよさについてスライドを作成し紹介する。 ○お互いの考えを共有し、高森町には様々なよさがあることを知る。 ○探究課題を設定する。	【態①】（発言） ★【態①】（発表用スライド） 自他の考えの違いを活かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 【思①】（発言）
		○高森町の良さから、自分が探究したいテーマを設定する。 (例) 児童A 食文化、農業、自然 児童B 風鎮祭、水 児童C 観光地	★【態①】（スライド） 自分の生活やこれまでの学びを振り返りながら、高森町のよさを見出し、テーマを選定している。
		ステップ1 ○学習計画（調べる内容や方法、発信方法と相手、時間配分、グループの分担、学校外ですること、必要な体験やゲストティーチャー）を立てる。 ○学習計画に沿って、授業中に学ぶことや家庭で	★【知②】（学習計画スライド） 必要な知識、技能を検討し、「課題についての情報収集」についての学習計画を立てている。 ★【知①】（まとめスライド） 高森町のよさを守り受け継ぐために、様々な人々の活動

展開	14	<p>学ぶことを選択しながら、自分のペースで探究的に課題解決に取り組む。 (活動例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや書籍を活用して情報を収集する。 ・教わる相手を選択し、訪問したり電話やメール等を活用したりしてインタビューする。 ・アンケートを活用し、データを収集する。 ・アンケートの結果を活用して、根拠を明確にして高森町の良さをまとめる。 <p>ステップ2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学び（プログラミング、スライド作成、動画編集等）を活用しながら、高森町のために自分にできることを検討する。【本時】 ○自分たちにできることについて隔週計画をスライドにまとめる。 ○学習計画に沿って、授業で学ぶこと、授業外（家庭学習や朝活動等）で学ぶことを打ち合わせながら、自分たちのペースで探究的に課題解決に取り組む。 <p>(活動例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を新たに収集する。 ・必要な技能を習得する。 ・「自分たちにできること」についてまとめる。 ・適切な相手を選択し、「自分たちにできること」について意見を求め、取り入れる。 <p>ステップ3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報発信について、学習計画を作成する。 ○相手や場を選択し、情報発信する。 ○情報発信について 	<p>や思い・願いがあることについて理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★【思②】（まとめスライド） 学習計画をもとにして、高森町のよさについて情報を収集している。 ★【態②】（まとめスライド・振り返りスライド） 自己の学びを振り返り、学習計画を変更しながら見通しを持って課題解決に取り組もうとしている。 ★【思③】（まとめスライド） 収集した情報を整理・分析している。 ★【思④】（まとめスライド） 伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、根拠を明確にしながらか表現している。 <ul style="list-style-type: none"> ★【態②】（学習計画スライド・振り返りスライド） 自己の学びを振り返り、学習計画を変更しながら見通しを持って課題解決に取り組もうとしている。 ★【思③】（まとめスライド・振り返りスライド） 収集した情報を整理・分析することで、自分たちにできることを考えている。 ★【知②】（学習計画スライド） 必要な知識、技能を検討しながら、自分たちにできることについて学習計画を立てている。 ★【思④】（まとめスライド） 伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、根拠を明確にしながらか表現している。 <p>【態①】（発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> ★【知②】（学習計画スライド） 必要な知識、技能を検討しながら、「情報発信」について学習計画を立てている。 ★【思④】（まとめスライド） 伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、根拠を明確にしながらか表現している。 <p>【態①】（発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> ★【態②】（発言・学習計画スライド）
終末	2	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の学びを振り返り、新たな課題やもっと調べたいことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ★【知③】（発言） 情報発信できたことこそが、探究的な学びの成果であることに気付いている。 ★【態③】（発言） 単元を通して学んだことを自分の生活に生かそうとしている。

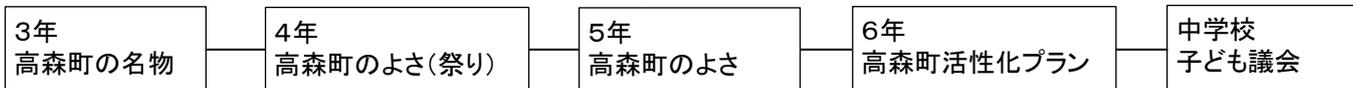
2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所（内容・指導事項等）
<p>小学校学習指導要領第1の目標を受け設定された本校の教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向け、自ら学び考え行動する児童の育成」をもとに、探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を設定、本単元を構成している。</p>
教材・題材の価値
<p>ふるさと高森町のよさを未来に残すために、自分にできることを検討することは、児童が自分の生活を見つめ直すことにつながる。また、各教科の学びを関連させて調べたり、発信する方法を選択したりすることで、自分なりの答えを導き出すことができる課題である。児童が探究するテーマを、祭りや食などの伝統文化、農業、自然保護等、複数設定することができ、児童は、自分の興味・関心のある課題から選択して学びを深めることができる。さらに、複数のテーマを探究したり、他のグループと意見交換したりすることにより、それぞれのテーマの関連性に気付くことも予想される。本教材は、探究的な学習を通して、これまで学んできたことや他者との学びを相互に関連付けながら、自分の問いを追究することに適している。</p>

本単元における系統

課題設定 5年国語 「みんなが使いやすいデザイン」 「よりよい学校生活のために」	情報収集 3年国語「インタビュー」「手紙」 4年国語「アンケート調査」 5年国語「インターネット」「新聞を読む」	整理分析 4年算数「グラフや表」 4年国語「要約」 5年算数「帯グラフと円グラフ」「割合」 5年国語「要旨」	まとめ・表現 4年国語「新聞を作ろう」 5年国語「子ども未来かた何をする」「言葉を使い分けよう」 5年社会「プレゼンテーション」
--	--	---	--

探究的な学びに関わる系統



※3～6年 プログラミング学習

児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）

■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況 (単位：人)

調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
1 学習のゴールを見通して、学習計画を立てることができる。	13	29	1	0
2 様々な方法を用いて必要な情報を入手することができる。	25	18	0	0
3 資料を活用して、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。	15	26	2	0

■本単元の学習に関する意識の状況 (単位：人)

調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
1 見通しを持ち、進んで調べたり、考えたりしながら学ぼうとしている。	23	17	3	0
2 これまで学んできたことと新しく学ぶことを結び付けて考えようとしている。	22	21	0	0
3 自分の考えを友達の考えと比較したり、つなげたりしながら、よりよい考えを出そうとしている。	21	20	2	0
4 振り返りの中で、本時の学習のまとめ、次の時間へ向けての問いや課題について考えようとしている。	25	17	1	0

■考察

(基礎・基本の定着状況より)

総合的な学習の時間（高森ふるさと学）や各教科の学習を通して、情報収集の方法（インターネットの正しい活用・インタビューやアンケートの活用等）や資料活用の方法を身につけている児童が多く、プレゼンテーション等を作成して、自分の考えを伝えることに楽しみを見出している児童が多い。

(学習に関する意識状況より)

総合的な学習の時間に、自分で課題や問いを見つけ、計画を立てて学習することや、友達と協働して課題を解決することに進んで取り組むことができる児童が多い。また、一つの課題を解決する過程で、新たな課題を見つけたり、その課題を解決する方法を友達と話し合ったりする等、自分や友達が納得できるまで根気強く取り組むことができる児童が多い。

3 指導に当たっての留意点

研究テーマ	つなぐ つなげる つながりあう 生活科・総合的な学習の時間 ～「ふるさと阿蘇」の探究を通して、自己の生き方を問い続ける子供の育成～		
(1) 視点1	(2) 視点2	(3) 視点3	
子供の思いを引き出すための課題設定と単元構成の工夫（つなぐ） ・子供の思いや願いを引き出すための対象や事象との出会い方の工夫 ・合科的・教科横断的な授業デザインの展開	自らの学びを自覚し、次の学びにつなげる振り返りの工夫（つなげる） ・振り返りを書く際の視点の工夫 ・振り返りを生かし、次の探究活動へつなげる指導の工夫	課題解決に向け、子供同士のかかわり合いを生み出すための工夫（つながりあう） ・考えや意見を整理し、可視化する工夫 ・思いや考えを共有する場の工夫（学習環境づくり）	

【本単元と研究テーマとの関連】

- 昨年度、高森町の祭りについて調べたり、草原学習を行ったりした中で児童が感じたふるさとのよさや問題点をもとに、本年度の課題設定と単元構成を行う。
- 個人・グループでの振り返りを確実に言い共有することで、前時と本時、本時と次時の違いを明確にすることで、次の探究活動につなげる。
- 児童が相互に協力しながら課題解決ができるように、デジタルワークシートや掲示板などを作成し、進捗状況や悩み、疑問などを共有できるようにする。

4 本時の学習

(1) 目標 高森町のよさを多くの人に知ってもらうために、わたしたちにできる活動に取り組もう。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	10分	1 各グループが本時に行う活動内容について全体で共有する。	○各グループの活動内容を共有することで、進捗状況を把握し、学び方の参考にできるようにする。
		<p>【めあて】 高森町のよさを多くの人に知ってもらうために、わたしたちにできる活動に取り組もう。</p>	
展開	20分	2 各グループの本時の学習内容を、全体で確認する。	○グループごとに活動内容が異なるため、教師は、事前に学習計画、学習内容、準備物、場所を確認しておく。 ○必要な機器等がある場合は、事前に児童に準備をさせておく。 ○学習活動2・3に必要な時間配分に関しては、各グループの活動の進捗状況や様子を確認しながら、活動が遅れているグループに声をかける。
		3 学習計画に沿って、課題解決に取り組む。 ◇想定される学習活動例 ・収集した情報の共有・整理 ・テレビ会議による情報発信の依頼 ・スライドによるリーフレット作成 ・動画編集 ・プログラミング ・グッズ作成 等	○グループごとに活動内容が異なるため、教師は、事前に学習計画、学習内容、準備物、場所を確認しておく。 ○必要な機器等がある場合は、事前に児童に準備をさせておく。 ○学習活動2・3に必要な時間配分に関しては、各グループの活動の進捗状況や様子を確認しながら、活動が遅れているグループに声をかける。 ○設定した課題に対しての評価、その理由、これから何を学ぶ必要があるのかを、学習シートをもとに検討させることで、授業外での学びや次時の学習内容について主体的に考えられるようにする。
		4 内容と学び方の両面から本時の学びについて整理し、これからどんな学びが必要か検討する。	<p>【具体の評価規準】態② 自己の学び方を振り返りながら、見通しを持って課題解決に取り組んでいる。 (学習計画スライド・振り返りスライド)</p> <p>【到達していない児童への手立て】 本時の学びでうまくいかなかった場面を想起させ、原因をグループで検討させる。</p> <p>【期待される学びの姿】 ・児童の解決したいことやそのために必要だと考える活動を大切にした課題解決型の授業を行い、学習過程については、学習リーダーを中心として児童が考える姿 ・児童同士の話し合いでめあてを決定したり、まとめを主体的に行ったりする姿 ・テレビ会議システムを活用して、自分たちの活動を発信する場を獲得するための交渉に必要な原稿を作成したり、実際に交渉したりする姿</p>
		5 学習計画を修正する。	○課題や学ぶ内容・方法、順番が具体的にできるよう学習計画を修正する。
		<p>【まとめ】今日の課題については、ほぼ達成できた。その理由は、～だからです。次の授業では、○○○をする予定です。△△△もした方がいいです。</p>	
終末	15分	6 学習活動2で整理した本時の学びとこれからの学びについて全体で共有する。	○他のグループの学び(内容や学び方)に触れることで、共通点や差異に気づかせる。